

《Q》安心・安全な自転車施策の充実を
《A》今後の状況を見極めながら研究していく



富永 訓正 議員（公明党）

安心・安全な自転車対策を
質問 羽村市での課題と取り組みは。

市長 交通安全対策は、講習会等で幅広い年齢層の方に交通ルール遵守やマナー向上への取り組みが課題である。駐輪場や放置問題については、安全確保と環境整備に取り組んでいる。また、安定した駐輪場運営へ有料化や民間活力の導入など調査・研究する。

質問 安全を鑑み、今後の走行環境の整備については、
市長 新奥多摩街道の一部に都で自転車レーンを設置したが、今年度、羽村・小作駅周辺や幹線道路に自転車ナビマークの設置を予定。他の道路も充実に努める。

質問 駐輪環境の充実は、
市長 利用しやすい環境整備と現在の駐輪台数を維持。サイクリングステーションの設置等で、観光面で自転車の利用促進、駐輪環境整備の検討を進める。

質問 自転車施策の総合的
市長 本年3月に「羽村市公共施設等総合管理計画」が策定された。計画の策定主眼と、その目的は、
市長 貴重な財産の末永い有効活用へ、計画的な整理統合・長寿命化で安定した行政サービスを目指す。

質問 自転車施策の総合的
市長 本年3月に「羽村市公共施設等総合管理計画」が策定された。計画の策定主眼と、その目的は、
市長 貴重な財産の末永い有効活用へ、計画的な整理統合・長寿命化で安定した行政サービスを目指す。



新奥多摩街道の自転車レーン

な計画策定が必要では。
市長 今後の状況を見極めながら研究していく。

質問 交通安全を主眼とした自転車関連の条例制定は、
市長 多面的な施策の検討が必要であり、研究する。

市の発展と住民福祉向上への公共施設等の総合管理について
質問 本年3月に「羽村市

質問 本年3月に「羽村市公共施設等総合管理計画」が策定された。計画の策定主眼と、その目的は、
市長 貴重な財産の末永い有効活用へ、計画的な整理統合・長寿命化で安定した行政サービスを目指す。

《Q》認知症カフェを実施し、市民が学べる環境を
《A》地域の実情に応じた設置を検討していく



西川 美佐保 議員（公明党）

高齢者が安心して暮らせるまちへ
質問 「認知症カフェ」を設置してはどうか。

市長 地域の実情に応じた設置を検討する。

質問 在宅医療・介護を担う事業所を今後どのように増やしていくのか。
市長 地域の医療・介護資源の連携により、体制の整備に努める。

羽村で子育てしたいまちづくりについて
質問 学童クラブの支援員等の雇用期間、雇用形態が現状にそぐわないのでは。
市長 雇用期間のあり方について、他の嘱託員も含め、

質問 学童クラブの支援員等の雇用期間、雇用形態が現状にそぐわないのでは。
市長 雇用期間のあり方について、他の嘱託員も含め、



富士見学童クラブ

必要に応じ検討する。

質問 現在無料となつている3人目保育料の、上の子の年齢制限の緩和を。
市長 国では今年度から、子どもが3人以上いる年収約360万円未満の世帯は年齢制限を撤廃し、そのひとり親世帯は、それに加え、

市長 国では今年度から、子どもが3人以上いる年収約360万円未満の世帯は年齢制限を撤廃し、そのひとり親世帯は、それに加え、第1子の保育料は半額、第2子以降は無料とする制度改正を実施している。市も同様の運用をしている。

羽村の観光資源の掘り起こしについて
質問 市内の交流人口を増やすためには、自動車や観光バスの駐車場が数カ所必要であると考え。市内企業と連携し、駐車場の確保などを促進しては、
市長 市の公共施設駐車場の利用、工場や事業所等の土地の借用など検討するとともに、祭り会場と駐車場の結ぶシャトルバスの運行など対策を講じる。

質問 市内の交流人口を増やすためには、自動車や観光バスの駐車場が数カ所必要であると考え。市内企業と連携し、駐車場の確保などを促進しては、
市長 市の公共施設駐車場の利用、工場や事業所等の土地の借用など検討するとともに、祭り会場と駐車場の結ぶシャトルバスの運行など対策を講じる。

《Q》2学期制検証委員会の答申の内容は
《A》中学校を「新たな3学期制に」との内容である



鈴木 拓也 議員（日本共産党）

小中学校の2学期制はどうなるのか
質問 「2学期制検証委員会」が集めたアンケートで「現在の2学期制を継続した方がよい」（か）との質問への答えは、
教育長 「あまりあてはまらない。まったくあてはまらない」との回答の合計は、小学校教員では36%、中学校教員では81%。小学校保護者では64%、中学校保護者では73%だった。

質問 アンケートをうけて出された答申の内容は、
教育長 中学校を「新たな3学期制に」との内容である。

質問 学期制の見直しは行うのか。
教育長 各学校に検討するよう指示をした。

熊本地震の教訓を羽村の今後に生かす
質問 震度7クラスの地震が起る想定のもと、震災対策を進めるべきでは、

質問 震度7クラスの地震が起る想定のもと、震災対策を進めるべきでは、

質問 震度7クラスの地震が起る想定のもと、震災対策を進めるべきでは、

《Q》事業継続計画（BCP）地震編の早期作成を
《A》平成29年度の作成に向けて進めていく



中嶋 勝 議員（公明党）

改めて防災・減災対策を問う
質問 車中泊避難における駐車場や健康面等の考えは、
市長 車中泊を含めた、避難者全体の健康管理について対策の検討を進める。

質問 女性視点の重要性が再認識されているが、
市長 避難所運営に女性を配置し、更衣室や授乳室、女性専用エリア等にも配慮している。

質問 民間企業をはじめ、多くの関係団体と災害協定を結んでおくべきでは、
市長 多方面にわたり、協定の締結を検討していく。

質問 被災により庁舎が使えないことも想定し、すぐ
市長 障がい者理解へ、講演会の開催やリーフレットの配布等で差別がないよう努める。

質問 障がい者の就労支援への取り組みは、
市長 障がい者理解へ、講演会の開催やリーフレットの配布等で差別がないよう努める。

質問 障がい者の就労支援への取り組みは、
市長 障がい者理解へ、講演会の開催やリーフレットの配布等で差別がないよう努める。



羽村市役所庁舎

に事業復帰できるよう事業継続計画地震編の作成を。
市長 庁舎の耐震化は完了しているが、事業継続計画地震編については、平成29年度に作成していく。

一人ひとりが輝く社会へ（障がい者支援）
質問 障害者差別解消法が施行されたが、市の取り組みは、
市長 障がい者理解へ、講演会の開催やリーフレットの配布等で差別がないよう努める。

質問 障がい者の就労支援への取り組みは、
市長 障がい者理解へ、講演会の開催やリーフレットの配布等で差別がないよう努める。

質問 障がい者の就労支援への取り組みは、
市長 障がい者理解へ、講演会の開催やリーフレットの配布等で差別がないよう努める。

質問 障がい者の就労支援への取り組みは、
市長 障がい者理解へ、講演会の開催やリーフレットの配布等で差別がないよう努める。

*その他の質問
「2学期制の検証について」



羽村第二中学校

市長 東京都は、羽村で震度6強の地震を想定している。しかし、今後は震度7クラスの地震も視野に入れて、震災対策の調査・研究をしていく。

質問 公共施設の耐震化のスピードアップが必要では、
市長 133施設のうち残りの14施設を計画的に耐震診断、耐震化を行っていく。

質問 避難所の収容可能人数は何人か。足りなくなったらどうするのか。
市長 最大3万7590人の収容が可能である。想定では、2万4832人の避難者を想定しており、収容は可能と考えている。

質問 避難所の収容可能人数は何人か。足りなくなったらどうするのか。
市長 最大3万7590人の収容が可能である。想定では、2万4832人の避難者を想定しており、収容は可能と考えている。

《Q》引きこもり対策の充実を
《A》来年度から講演会や相談会を進めていく

浜中 順 議員（日本共産党）



就学援助を
引きこもり受け止めよう
質問 羽村市の就学援助費の平成26年度の認定基準は、所得基準による都内の市の中で、最高額が400万円の国立市に対して264万円と最低で、就学援助が最も受けにくい。どう考えるか。

不登校・引きこもり対策の充実を
質問 不登校対策は、担任任せでなく組織的な対応が必要であるが、若い教員が子どもを理解し指導する力を身につけるため、どんな手だてがとられているか。
教育長 不登校対応に関する研修会等を実施している。
質問 青梅市では、毎年引きこもりの講演会を開いた後に相談活動や家庭訪問が行われている。羽村市も独自の対策を講ずべきでは。
市長 引きこもりの問題を抱える家族や民生児童委員等のための講演会、相談会等を次年度以降進めていく。



引きこもり対策に関するパンフレット等

《Q》市内事業者への発注機会を増やす考えは
《A》可能な範囲において様々な視点から検討する

富松 崇 議員（新政会）



改修工事中の羽村第二中学校体育館

市内事業者とともに発展していくまちへ
質問 業種ごとに特化した支援の強化を図る考えは。
市長 市内事業者の状況把握に努め、業種や業態のニーズに合った支援制度として、支援に取り組んでいく。
質問 支援で表れた効果や事例を市内事業者へ情報提供することで、さらなる波及効果が出るのでは。
市長 羽村市企業支援メール配信サービスや市公式ウェブサイトを活用し、参考事例として広く情報発信していきたい。
質問 市発注の工事・物品

購入は、より多く市内事業者が受注できるように配慮するべきでは。
市長 地域振興・産業活性化の観点から、市内事業者の経営の安定および向上に配慮する必要があるものとして捉えている。可能な範囲において検討を図っていく。
質問 20年・30年後も発展し続けていくためには、昼間人口を増やし魅力あるまちにしなければならぬと考える。そのためには、元気な市内事業者を育成していくことが重要だと思いが。
市長 市内事業者は、地域経済の活性化と従業員の雇用を支えていただいており、羽村市の原動力となっている。市民・事業者・行政とともに自立し、相互に連携した魅力あるまちとして発展していけるよう、事業者のニーズに合った産業振興を推進していく。



《Q》羽村大橋工事に13年、高架橋、モノレールは無い
《A》工期は必要。高架橋、モノレールは事業化に至らず

山崎 陽一 議員（世論）



羽村大橋拡幅工事予定地

区画整理撤回要求第37弾
質問 羽村大橋工事は完了は13年後、高架橋、モノレール計画は無い。区画整理との整合性がないが。
市長 都の説明で、工期13年は必要と受け止める。羽村大橋東詰交差点部の高架橋、多摩都市モノレールは、現段階では事業化に至らず「設計しない」の発言となつたと考える。
質問 高架橋に対し、市は平面交差を要望したが。
市長 景観配慮と建設費削減から平面交差を都と協議したが、道路構造令に基づき都市計画決定を受けており、高架橋が妥当となった。

根拠のない実施計画。事業期間30年と資金計画を聞く
質問 移転実施計画が完了した。関係者への説明、意見聴取はいつ行ったか。
市長 今後、移転工事範囲の資料を作成し権利者、地区単位の説明会開催など、意見、意向を聞いていく。
質問 建物移転数と曳家、再築数。平成41年、65棟の移転。事業費と工期は。
市長 移転951棟で曳家167棟、再築765棟。換地先が使えない時の中断移転など不確定要素があり事業費、工期は示せない。
質問 事業費は年間14億円、一般財源は3〜6億円の答弁。財政的裏付けは。
市長 特定財源は国・都の交付金、補助金などで関係機関と調整中で示せない。事業費は、事業計画変更手続き確定段階で示す。
*その他の質問
「市民提案型協働事業の目的、達成目標は」



《Q》新農業委員会制度下、農業をどう振興していくか
《A》魅力ある産業として発展する取組みを推進する

橋本 弘山 議員（新政会）



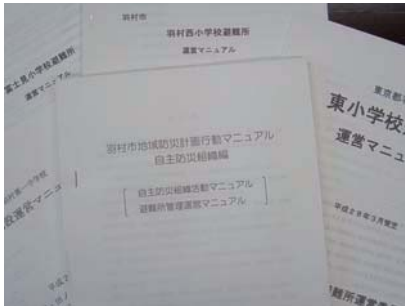
農業委員会主催の「農ウォーク」

農業委員会制度改革について
質問 農家の選挙による選出制から、市長が議会の同意を得て任命する選任制になるが、農家の意見はどのように反映されるのか。
市長 委員任命には農業者、農業者の組織団体、その他関係者に候補者の推薦を求め、候補者が定数を超えた場合には関係者からの意見聴取が規定されていることから、農業者の意見反映は担保されている。
質問 羽村市農業委員会委員の9人の定員についてどう考えるか。
市長 平成17年、羽村市の行政面積、農地面積等を参

考に定数条例改正を実施、現在の定員は適切と考える。
伝統文化としての祭り等の位置づけと観光行政は
質問 伝統文化の継承のため、羽村市としてどのような支援が可能なのか。
市長 市内の伝統文化を後世に引き継ぐことは極めて重要である。市が継承方法の支援策を企画立案し、観光協会や商工会等の関係機関と連携しながら、観光資源として広く発信し、今後の観光行政に活かすよう努める。
公用車へのドライブレコーダー導入について
質問 導入に対する市の考え、防犯面からの活用は。
市長 当面は安全運転の確保と事故等の記録に限定利用し、防犯については個人情報等、様々な検討課題があるので今後研究していく。
※ドライブレコーダー…運転の記録を映像・音声等で記録する自動車の車載装置。

《Q》いずれ来る大災害に備え、より具体的な防災対策を
《A》これまでの災害を教訓とし、対策に取り組む

馳平 耕三 議員（民進党）



羽村市避難所管理運営マニュアル等

より具体的な防災対策を
質問 各避難所では、要配慮者のための福祉避難室は確保されているか。
市長 避難所管理運営マニュアルでは、要配慮者を優先して避難所内へ誘導し、部屋割りをしていくと定めている。
質問 要配慮者への緊急通報システムはどの程度整備されているか。
市長 現在、障害者世帯は5世帯、高齢者世帯は33世帯となっている。
質問 大規模災害発生時、市内の避難所でも市外の人を受け入れる体制はあるか。
市長 被災者を市内に受け入れる場合も想定しており、

市民の応急措置に支障のないよう実施していく。
質問 在住外国人や外国人旅行者に防災無線での情報の提供は可能か。
市長 避難に関する情報など、重要性の高いものから実施していく考えである。
質問 東京都帰宅困難者対策条例では、事業所や学校に3日分の飲料水・食糧などの物資を備蓄する努力義務が課せられたが、市内の状況を調査しているか。
市長 体制は整えていると推察しているが、市としては調査していない。
質問 札幌市のような防災ハンドブックを配布できないか。
市長 札幌市の防災ハンドブックは、文章よりも絵図を多用し、わかりやすい。他の自治体の例も参考に、わかりやすい表記となるよう検討していく。
*その他の質問「羽村市の子ども・若者施策をさらに前進させるべき」

《Q》「加入要請」後、昭島市との情報交換は
《A》情報交換までには至っていない

門間 淑子 議員（市民ネットワーク「いきいき広場」）



昭島市の可燃ごみ受け入れ問題について
質問 昭島市議会建設環境委員協議会（2月17日）の議事録は、「昭島市の加入は経費的な面で双方にメリットがある」と協議に入ったことが伺える内容だ。昨年5月からの協議は、どのようになされたか。
市長 議事録の内容からは羽村市と協議に入ったことが伺える部分は見当たらない。昨年5月、昭島市から加入に関する相談を受けた後、昭島市と協議は行っていない。
質問 西多摩衛生組合の調査は、どこまで進んでいるか。
市長 「可燃ごみの処理量増加に伴う技術的措置対応」に関する調査検討が進んだ。西多摩衛生組合から組合議会議員に対し、昭島市の可燃ごみを搬入した場合、焼却に伴い発生する有害物質の排出でも協定期間値を遵守できると説明した。



西多摩衛生組合

他の2項目は調査検討が継続中である。
食べ残しをなくそう
質問 長野県では「食べ残しを減らそう県民運動」プロジェクトを進めている。松本市でも「残さず食べよう！30・10運動」を進め、ともに宴会などの食べ残しをなくす取り組みをしている。「羽村版30・10運動」を始めてはどうか。
市長 ごみの減量や資源の有効活用に関係するが、飲食業の方々の意見を聞く必要があり、商工会等と調査研究を進めたい。
*その他の質問「マイナンバー制度について」

《Q》観光協会の組織強化を図るべきではないか
《A》必要と考え、市として積極的に関わっていく

印南 修太 議員（新政会）



観光によるまちづくりの可能性について
質問 「花と水のまつり」の運営を今後も羽村市観光協会が行うのであれば、組織体制の強化を図るべきではないか。
市長 本年度のまつり期間中は、26万人の来場者があり過去最高を記録したが、道路の渋滞などの新たな課題が生じた。今後、観光協会及び関係する団体と協議する中で、法人化等による組織力や資金力の強化、マンパワーの確保など経営基盤の確立に向けて、市としても積極的に関わっていく。
質問 観光事業に一層力を入れることで、羽村駅西口に新たな賑わいを創り出せるのではないか。
市長 ハード・ソフトの両面から、強化していく必要性があると捉えている。



魅力いっぱいの観光資源がある羽村市

で何件あったか。
市長 実人数は子ども家庭部11人、福祉健康部56人（就学児以上を含む）、生涯学習部23人である。
質問 専属の発達相談員による幼稚園・保育園などへの訪問支援をさらに充実できないか。
市長 すべての子どもは、いかなる状況にあっても健全やかな育ちが等しく保障されなければならない。市では支援体制のさらなる充実に向け、組織横断的に検討を始めたところである。発達相談員の配置、訪問支援の充実についても、その中で検討していく。

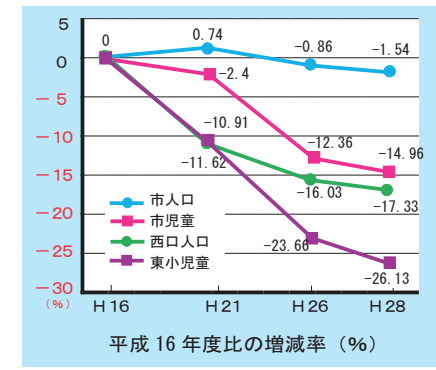
《Q》西口区画整理事業の見直しは終わったか
《A》様々な調整のためまだ時間がかかる

水野 義裕 議員（羽村21）



羽村駅西口土地区画整理事業の見直しは怎么样了か
質問 事業の見直しは終わったか。
市長 平成28年度以降のできるだけ早い時期に事業費を見直すことと答弁しているが、事業期間が長いこと、国および東京都との調整が必要なことから、計画の詳細を詰める作業に時間を要している。
質問 曳家工事ができる業者は把握しているか。
市長 一般社団法人日本曳家協会に、都内4事業者が登録している。
質問 再築補償で、建物の築年数と補償率は。
市長 築年数と補償率は、「羽村市土地区画整理事業損失補償基準」で定めている。耐用年数48年の木造住宅で、建築後40年の再築補償率は、約50%である。
質問 対象地区と市全体の世帯数と人口、羽村東小と市全体の児童数の推移は。
市長 西口地区は、16年度

13世帯、3382人。28年度1251世帯、2796人で、62世帯、4・72%減、586人、17・33%減。
市は、16年度2万3597世帯、5万7161人。1世帯、7・63%増、880人、1・54%減。
東小の児童数は、16年度486人、28年度359人で、127人、26・13%減。
市の児童数は、16年度3456人、28年度2939人で、517人、14・96%減。
*その他の質問「地域防災計画の具体化を急げ」



市議会ではこんな活動もしています

市議会議員は、議会のほかにも、各々が所属する委員会等に関する会議や視察、研修などに出席しています。

平成28年5月1日～7月31日の議会の主な活動

- | | |
|---|--|
| <p>5月</p> <p>10日 行政視察受入(武蔵野市議会)
姉妹都市事業連絡協議会総会</p> <p>18日 三多摩上下水及び道路建設促進協議会
正副会長・委員長会議</p> <p>19日 平成27年度羽村市土地開発公社決算監
査</p> <p>23日 平成28年第2回羽村市土地開発公社評
議委員会
西多摩地区議長会定例会議</p> <p>24日 東京都市議会議長会定例総会</p> <p>26日 東京都三多摩地区消防運営協議会通常
総会</p> <p>27日 三多摩上下水及び道路建設促進協議会
理事会・第54回総会</p> <p>30日 第5回羽村市議会改革推進委員会</p> <p>31日 全国市議会議長会第92回定期総会</p> <p>6月</p> <p>1日 第4回議会運営委員会
9日・10日・13日・14日
第2回羽村市議会(定例会)
【初日～4日目】</p> <p>13日 第2回経済委員会</p> <p>15日 第6回羽村市議会改革推進委員会</p> <p>16日 一般会計等予算審査特別委員会(補正
予算)
第2回総務委員会</p> <p>17日 第2回厚生委員会</p> | <p>21日 羽村市多摩都市モノレール建設促進特
別委員会調査研究活動(武蔵村山市)</p> <p>24日 第5回議会運営委員会</p> <p>28日 第2回羽村市議会(定例会)【最終日】
第6回議会運営委員会</p> <p>7月</p> <p>1日 第4回広報委員会
平成28年度第1回羽村市官公署等連絡
協議会</p> <p>5日 全国市議会議長会基地協議会第85回理
事会
平成28年度青梅、羽村地区工業用水道
企業団議会議員行政視察</p> <p>7日 第5回広報委員会</p> <p>8日 羽村市基地対策特別委員会調査研究活
動(横田基地)</p> <p>12日 第1回福生病院組合議会臨時会</p> <p>13日～14日
北杜市議会と羽村市議会との交流事業
(北杜市)</p> <p>20日 三多摩上下水及び道路建設促進協議会
第3委員会</p> <p>25日 第7回羽村市議会改革推進委員会</p> <p>28日 羽村市議会改革推進委員会視察
(逗子市)</p> <p>29日 三多摩上下水及び道路建設促進協議会
第1委員会</p> |
|---|--|

会派名簿

新政会

いんなん 修太
とみまつ 崇
はしもと 弘山
たけしま よしお
瀧島 愛夫

公明党

ながじま まさる
中嶋 勝
とみなが のりまさ
富永 訓正
にしがわ みさほ
西川美佐保
いしい ひさお
石居 尚郎

民進党*

おおつか 大塚あかね
はせひら こうぞう
馳平 耕三

新しい風

ただか 高田 和登
こみや 小宮 國暉

日本共産党

はまなが じゆん
浜中 順
すずき たくや
鈴木 拓也

**市民ネットワーク
「いきいき広場」**

もんま ひでこ
門間 淑子

※「民主党」は、平成28年4月1日から会派名を「民進党」に変更しました。

羽村21

みずの よしひろ
水野 義裕

リフレッシュ羽村

はまなが としお
濱中 俊男

世論

やまざき よういち
山崎 陽一

◆会派とは、政治上の主義や政策が同じ議員の集まりで、議会活動を行う上での基礎となります。

議会活動アルバム



6月21日、多摩都市モノレール建設促進特別委員会が、武蔵村山市の特別委員会を傍聴し、意見交換を行いました。



6月22日、経済委員会が、市民インタビューを動物公園で行いました。



7月8日、基地対策特別委員会が、横田基地を視察しました。



7月13日、北杜市議会との交流事業で、北杜市を訪問し、視察と意見交換を行いました。



羽村市議会では、議会改革推進委員会を設置し、昨年6月から毎月開催して、より開かれた議会を目指して議論しています。

しぎかいカレンダー

●9月定例会の予定●

日	月	火	水	木	金	土
8/21	22	23	24	25 陳情 ^ㄨ	26	27
28	29 議運	30	31			
			9 /1	2		3
4	5	6 本会議	7 本会議	8 本会議	9 本会議	10
11	12	13 予特 (補正)	14 常任委	15 常任委	16	17
18	19	20 決特	21 決特	22	23	24
25	26	27	28	29	30 本会議	

- 陳情^ㄨ…請願・陳情の9月定例会審議予定分の締切
- 議 運…議会運営委員会
- 常任委…常任委員会（総務、経済、厚生）
- 予特（補正）…一般会計等予算審査特別委員会（補正予算）
- 決 特…平成27年度決算審査特別委員会

*会議の予定は変更になる場合があります。
詳細は議会事務局までお問い合わせください。

各施設に関するお問合せ（2・3ページ参照）

羽村市観光協会 042-555-9667
羽村市動物公園 042-579-4041
羽村市郷土博物館 042-558-2561

議会を見よう！知ろう！

～次の定例会は9月～

本会議でどんなことがどのように話し合われているのか、さまざまな手段で知ることができます。皆さんの暮らしに直結していることばかりです。ぜひご覧ください。

- 1 議場で傍聴 ーライブで！**
当日、直接議場へおいでください。
- 2 ケーブルテレビで生中継**
TCN多摩ケーブルネットワークで、本会議の様子を生中継でご覧になれます。放送日は横のカレンダーをご参照ください。
- 3 インターネットで録画中継**
開催日の3日後から、インターネットで録画中継を見ることができます。
- 4 会議録で読む**
議会終了後2か月程度で会議録ができあがります。冊子または、羽村市公式ウェブサイトから見ることができます。

羽村市公式ウェブサイト

<http://www.city.hamura.tokyo.jp/>

羽村市議会

検索



編集後記

市議会中、また、参議院選・リオ五輪を目前に、政治資金を巡る私的流用疑惑を残したまま、都知事が辞職。しかしながらその説明責任を免れられるものはありません。この「ぎかいのトビラ」第112号が皆さまのお手元に届く頃には、参議院も新体制となり、新都知事も決まっていることでしょうか。

さて、市議会では現在、全議員による議論を通じ議会改革に邁進中です。これからも住民福祉の向上に向けしっかりと取り組んでまいります。

この編集後記は、夏至直前に原稿を起こしましたが、夏も真っ盛りのこの時期、熱中症などに気をつけながら体調管理に留意してまいりたいものです。

（富永記）

【広報委員】

濱中 俊男（委員長）
高田 和登（副委員長）
富松 崇 富永 訓正
大塚あかね 西川美佐保

発行／羽村市議会 編集／広報委員会

〒205-8601 東京都羽村市緑ヶ丘5-2-1 Fax 042(555)0889
Tel 042(555)1111 (内線412～414、416)



「ぎかいのトビラ」は再生紙を使用しています。